

古くて新しい病～てんかん～を知ろう

稲城市立病院 脳神経外科医長

杉山 一郎

本日のTopics

1. てんかんとは？
2. てんかんの治療
3. てんかんと運転免許・妊娠・支援制度
4. てんかん発作の動画

てんかん Epilepsy



てんかんと偉人

俳優

ブルース・リー
エリザベス・テーラー

芸術家

ゴッホ
ドフトエフスキー
プリンス
大江 光

スポーツ選手

フローレンス・ジョイナー

学者

ソクラテス
南方熊楠
アインシュタイン

宗教家

ムハンマド
ジャンヌ・ダルク

政治家

ナポレオン
レーニン

てんかんとは？

・てんかんの定義

様々な原因により起こる慢性の脳の病気
大脳の神経細胞の過剰な活動に由来する反復性の発作(てんかん発作)を
主徴とする

・てんかんの原因

- 1) 器質性(症候性)
海馬硬化・皮質形成異常・脳腫瘍・脳血管障害・外傷など
- 2) 機能的(特発性)
欠伸発作・點頭てんかん(West症候群)・レノックスガストー症候群など

・てんかんの有病率

6~10人/1000人 → 70-80%は薬物治療で発作消失

・難治性てんかん

抗てんかん薬を2種類以上服用しても、2年以上発作抑制不良なてんかん
てんかん患者の15-20%

てんかん治療の意義とは？

— とくに小児の場合において —

- ・発作そのものによる入院や施設入所を余儀なくされる
- ・脳の成長・発達過程にある小児では、頻発するてんかん発作によって発達停止・退行を引き起こす
- ・長期間の発作継続によって、教育や社会進出の機会を失う
- ・本人のみならず保護者の Quality of Life を低下させる

精神運動発達の観点からも、できるだけ早期の発作抑制が必要！！

てんかんの外科治療

・対象

難治性てんかんの中で、手術によりてんかん発作が消失あるいは大幅に抑制される可能性があるもの 全てんかん患者の4-5%

・手術の術式

- 1) 切除外科 焦点切除術・脳葉切除術(海馬・扁桃体切除術)
- 2) 遮断外科 脳梁離断術・軟膜下皮質多切術
- 3) その他 迷走神経刺激術・定位的温熱凝固術

・日本におけるてんかん外科の現状

新たな外科治療の対象患者 2000人/年

実際の手術件数 約600件/年

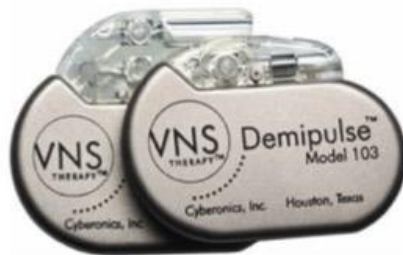
→ イギリス、韓国の年間手術件数とほぼ同じ

多くの難治性てんかん患者が適切な外科治療を受けられていない!!!

迷走神経刺激治療とは？

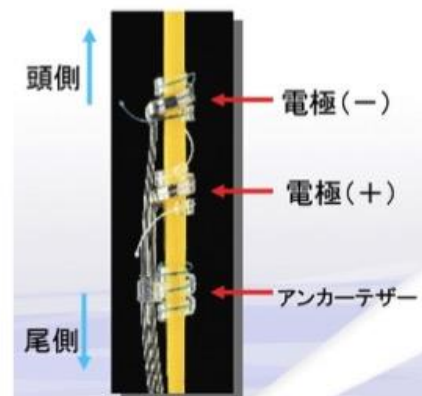
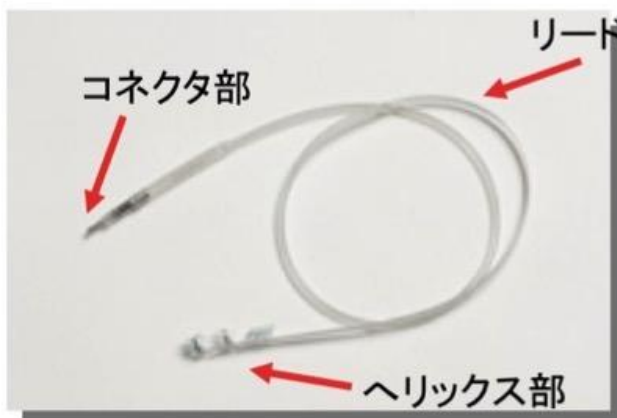
- Vagus Nerve Stimulation; VNS
- 日本では2010年7月に保険適応となる
- てんかん発作のコントロール(てんかん発作の頻度または程度を減少させること)を目的として、迷走神経に断続的な電気刺激を与える
- 左頸部の迷走神経にリード電極、前胸部にパルスジェネレータを植込む
- 植込み後は、体外よりプログラミングワンドを使い刺激設定等の調整を行う

製造元: Cyberonics 社



- ✓ 本社: アメリカテキサス州ヒューストン
- ✓ 1987年創立、94年CEマーク、97年FDA承認
- ✓ VNSシステムに特化した医療機器メーカー
- ✓ 70カ国で約10万台以上の使用実績

リード



プログラミングワンド



てんかんと女性(妊娠)

- 計画妊娠が望ましい
- 抗てんかん薬を服薬していた場合、生まれてくる児の平均奇形頻度は、2-3倍高くなる。(4-10 % vs 2-3 %)
- バルプロ酸、カルバマゼピンと二分脊椎の関連が報告されている。
- バルプロ酸と発達障害の関連が報告されている。
- 妊娠可能女性では、バルプロ酸は徐放剤とし、1000mg/日以下の投与量が望ましい。
- 葉酸投与、ビタミンK投与は、それぞれ神経管閉鎖障害の発症予防、新生児頭蓋内出血の発症予防となる。
- 女性てんかん患者の妊娠中の合併症は多くなく、通常の出産(自然分娩)が可能。
- 抗てんかん薬を服用中でも授乳してよい。

てんかんと運転免許

免許の可否は、主治医の診断書もしくは臨時適性検査に基づいて行われる。

- 発作が過去5年以内に起こったことがなく、医師が「今後発作が起こるおそれがない」旨の診断を行った場合
- 発作が過去2年以内に起こったことがなく、医師が「今後、X年程度であれば発作が起こるおそれがない」旨の診断を行った場合
- 医師が1年の経過観察の後「発作が意識障害及び運動障害を伴わない単純部分発作に限られ、今後症状の悪化のおそれがない」旨の診断を行った場合
- 医師が2年間の経過観察の後「発作が睡眠中に限って起こり、今後、症状の悪化がない」旨の診断を行った場合

自立支援医療制度

- 病院・診療所(クリニック)に通院しててんかんの診察などを受けたときの医療費(公的保険適応)が対象
- 対象となる医療費の自己負担が原則1割となる
- てんかん以外の病気(自立支援医療制度で認定されている病気は除く)で通院する場合の医療費は対象にならない

[対象となる医療費]

- 外来診療
- 外来での検査・投薬
- 往診
- デイケア
- お薬代
- 訪問看護(介護保険部分は対象外)

[対象とならない医療費]

- 入院したときにかかる医療費
- 公的医療保険が対象とならない治療、投薬
- てんかんと関係のない病気の医療費